

FUJITSU Server PRIMERGY GX2570 M6

Red Hat Enterprise Linux OS の 手動インストール

Red Hat Enterprise Linux 8.2 以降

- GX2570 M6でRed Hat Enterprise Linux 8.2以降をご利用になるためのインストール方法や運用前に必要な操作について説明しています。
- 本書に記載のインストール方法は一例です。各設定等、詳細につきましてはレッドハット社のインストールガイドを参照ください。
https://access.redhat.com/documentation/ja-jp/red_hat_enterprise_linux/8/html/performing_a_standard_rhel_installation/index
- サポートするOS名称やカーネル版数に関しては次の弊社インターネット情報ページをご参照ください。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/primergy-os/>





本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
(→ P.xx)	参照先のページを示しています。クリックすると該当ページへ移動します。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ DVD-ROM ドライブの表記について

本書では、DVD-ROM ドライブを「CD/DVD ドライブ」と表記しています。

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:  
  ↑  ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
- コマンド実行の操作は、コマンドを入力して【Enter】キーを押してください。

■ CD/DVD が自動的にマウントされない場合

シングルユーザモード、テキストモードを使用する場合、CD/DVD などのメディアは自動的にマウントされません。

CD/DVD が自動的にマウントされない場合は、次のコマンドを実行してください。

```
# mount -r /dev/cdrom /media/<メディアのボリューム名>
```

初回マウント時に次のコマンドを実行して、CD/DVD のマウントポイントを作成してください。

```
# mkdir /media/cdrom
```

■ 保守サービスについて

弊社では、お客様に安心して Linux を使用していただくために、有償サポート・サービスをご用意しております。有償サポート・サービスをご契約いただくと、本書に関するご質問、インストールや運用の際に発生する疑問やトラブルなどについて解決支援させていただいております。有償サポート・サービスをご契約いただくことをお勧めします。

■ GX2570 M6 のドライバ&修正プログラムについて

各種ドライバや BIOS、ファームウェア、添付ソフトウェアなどの最新モジュールを、次の当社インターネット情報ページにて提供しております。システム安定稼動のため、常に最新モジュールを適用して運用されることを推奨します。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/>

なお、最新モジュールのダウンロード、および適用作業につきましては、お客様自身で実施いただきますようお願いいたします。

弊社にて作業実施をご依頼されるお客様は、有償にて承っております。担当営業員、または販売店までお問い合わせください。

■ 商標

Linux は、Linus Torvalds 氏のアメリカ合衆国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはそのグループ会社の登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright 2021 FUJITSU LIMITED

目次

本書をお読みになる前に	2
第1章 インストール前の準備.....	5
1.1 インストールDVDの作成.....	5
第2章 システムのインストール.....	6
2.1 インストールの流れ.....	6
2.2 インストールの開始.....	7
2.3 インストール後の環境設定.....	15
改版履歴	16

第 1 章 インストール前の準備

CD/DVD ドライブ（および DVD インストールメディア）を使用して、ローカルシステムに直接接続された HDD へインストールする手順を説明します。インストールを開始する前に、必要なディスクを作成します。

■ サブスクリプションの登録

システムをインストールする際、Red Hat カスタマーポータルからデータをダウンロードする必要があります。データのダウンロードにあたり、サブスクリプションの登録が必要です。

詳細については、「サブスクリプションについての FAQ」
(<https://access.redhat.com/ja/articles/64250>) をご覧ください。

1.1 インストール DVD の作成(RHEL8.2 の場合)

インストールを開始する前に、次の DVD を作成する必要があります。未使用のダブルレイヤの DVD を 1 枚用意してください。

項目	本書での表記	備考
Red Hat Enterprise Linux 8.2 インストール DVD	インストール DVD	Red Hat 社から提供される Red Hat Enterprise Linux 8.2 をダウンロードして作成します。

POINT

- RHEL8.2 はシングルレイヤの DVD には収まらないため、ダブルレイヤの DVD を使用してください。
- RHEL8.3 以降はインストール ISO イメージ容量が DVD メディアの容量を超えているため、DVD の作成はできません。USB メモリや BMC の Virtual Media 機能を利用してインストールしてください。

1 Red Hat カスタマーポータルにログインし、ダウンロードページに移動します。

2 Binary Disc の ISO イメージをダウンロードします。

Red Hat カスタマーポータルの画面にチェックサムが記載されています。サイズとチェックサムを確認してください。

3 ダウンロードした ISO イメージからインストール DVD を作成します。

作成した DVD には、「インストール DVD」と記載しておきます。

第2章 システムのインストール

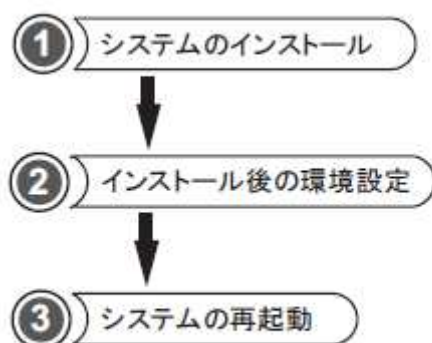
システムをインストールする方法について説明します。

POINT

- あらかじめ、「第1章インストール前の準備」 ([→P.5](#)) をご覧になり、必要なディスクを作成してください。

2.1 インストールの流れ

手動インストールは次の流れで行います。



●準備するもの

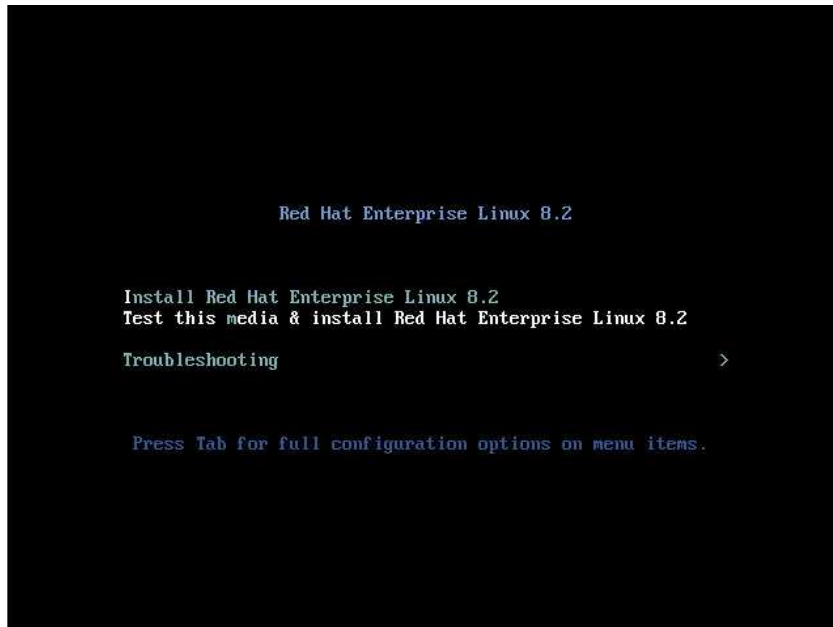
操作を開始する前に、次のものを準備してください。

- ・インストール DVD
 - 「1.1 インストール DVD の作成」 ([→P.5](#))

2.2 インストールの開始

1 電源ボタンを押し、DVDドライブを接続してインストールDVDをセットします。

しばらくすると、ブートメニューが表示されます。



【↑】キーを押して、「Install Red Hat Enterprise Linux 8.2」を選択し、【Enter】キーを押します。

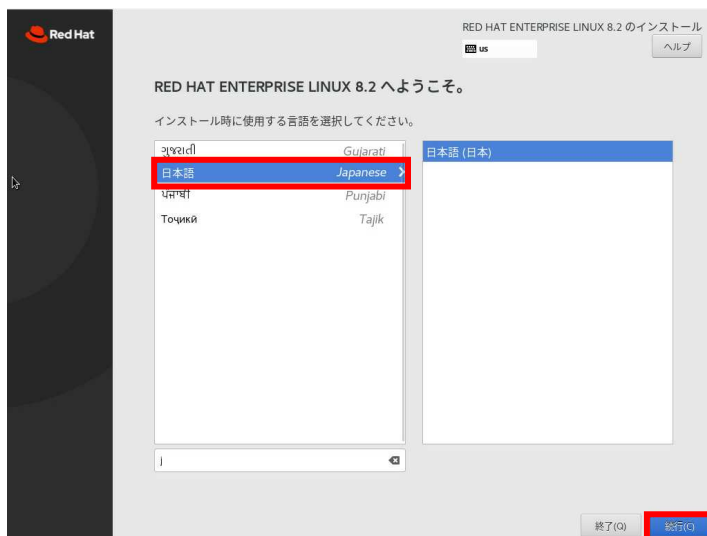
POINT

- キー入力しないまま、一定時間を経過すると「Test this media & install Red Hat Enterprise Linux 8.2」が自動的にロード開始されます。
その場合は【Ctrl】+【Alt】+【Del】キーを押し、やり直してください。
- 以降はキーボードで操作を行います。
項目選択：【←】【→】【↑】【↓】キーもしくは、タブキー
項目決定：【Enter】キー

※現時点でインストールに必要なドライバはありません。

※他のブート可能なデバイスが接続されている場合、動作が異なることがあります。

2 言語を選択する画面が表示されます。



3 「日本語」を選択し、「続行(C)」をクリックします。



本操作ではキーボードが動作しない場合があります。その場合は、一時的にキーボードを外してマウスを接続し、マウスにより操作します。

4 インストールの概要画面が表示されたら、必要に応じて各項目の設定を行います。

ここでは設定の一例として、「ソフトウェアの選択(S)」、「インストール先(D)」の設定を示します。

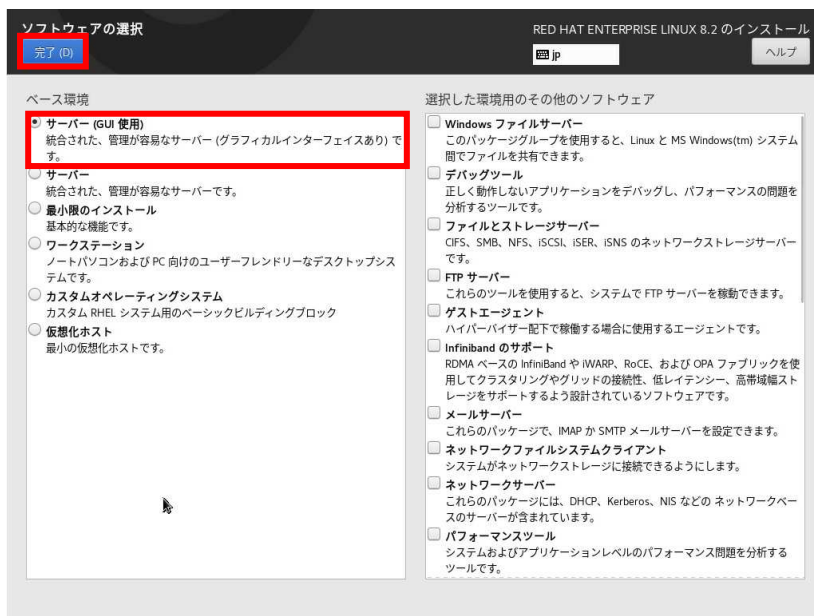


5 「ソフトウェアの選択(S)」をクリックします。

ソフトウェアの選択の設定画面が表示されます。

ご希望のベース環境とアドオンを選択して「完了(D)」をクリックします。

(ここでは選択の一例として「サーバー(GUI 使用)」を選択しています。)



6 「インストール先(D)」をクリックします。

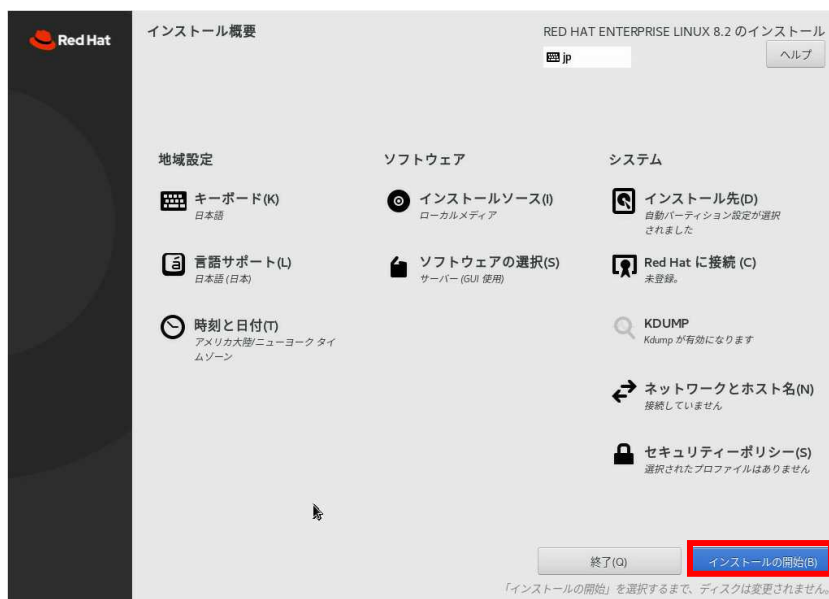
インストール先の設定画面が表示されます。

ご希望のインストール先を選択して「完了(D)」をクリックします。

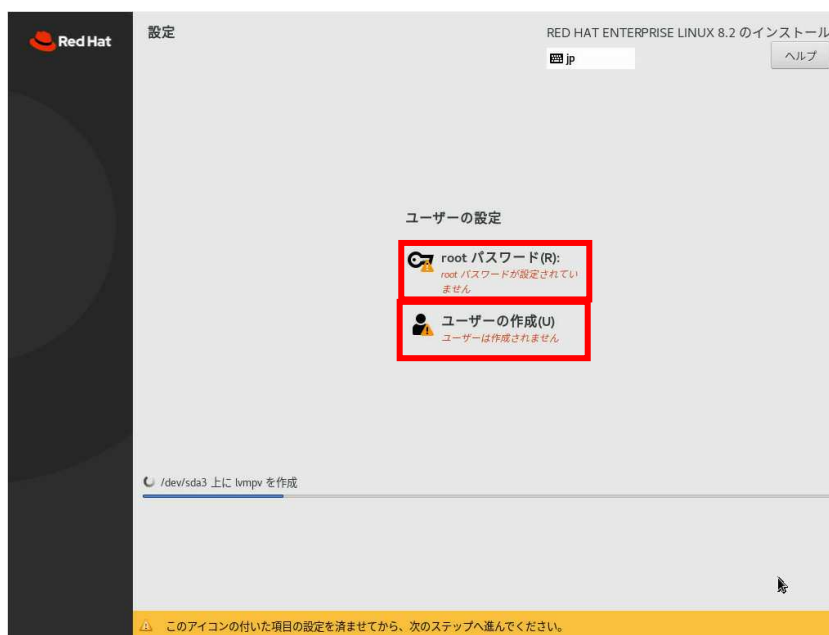
(ここでは選択の一例としてローカルの標準ディスクを選択しています。)



- 7 各項目の設定完了後、インストールの概要画面より、「インストールの開始(B)」をクリックします。



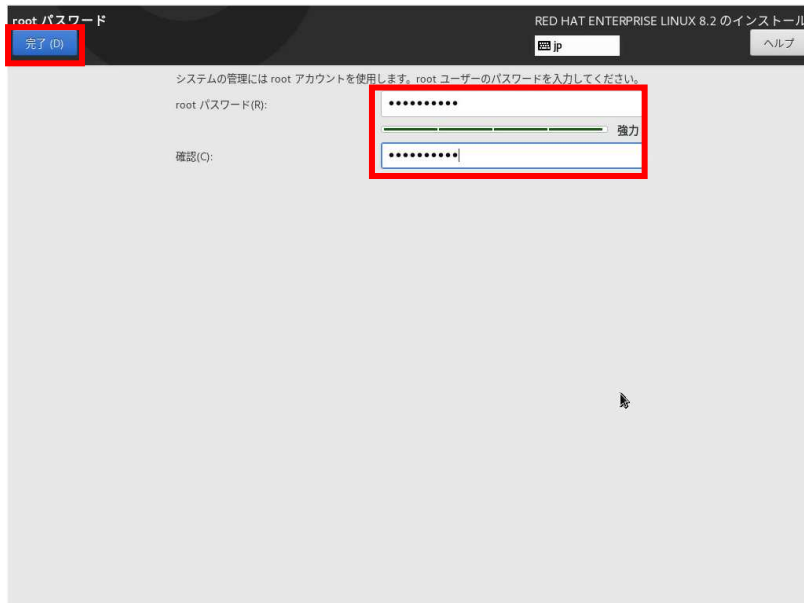
- 8 ユーザーの設定画面が表示されたら、「ROOT パスワード(R)」および「ユーザーの作成(U)」を設定します。



9 「root パスワード(R)」をクリックします。

root パスワードの設定画面が表示されます。

root パスワードを設定し「完了(D)」をクリックしてください。

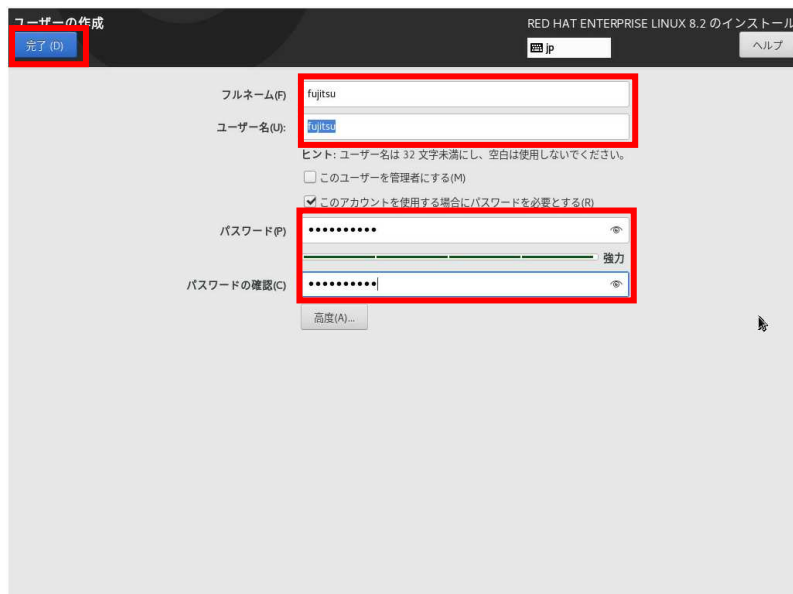


10 「ユーザーの作成(U)」をクリックします。

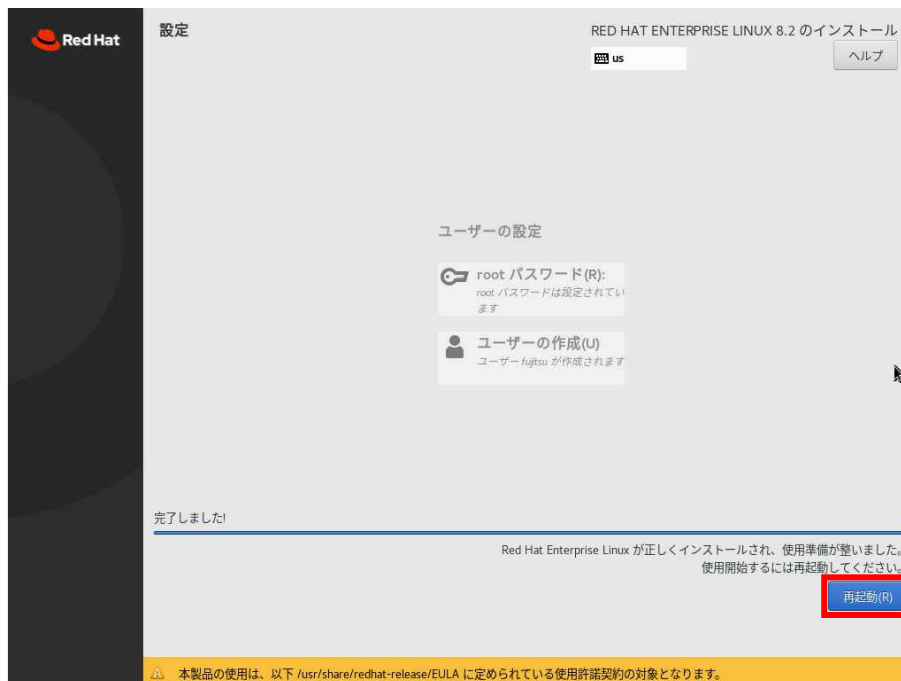
ユーザーの作成の設定画面が表示されます。

作成したいユーザーのフルネーム、ユーザー名、パスワードを設定し「完了(D)」をクリックしてください。

(※本設定はスキップ可能ですが、初回ログイン時に本設定が求められます。)



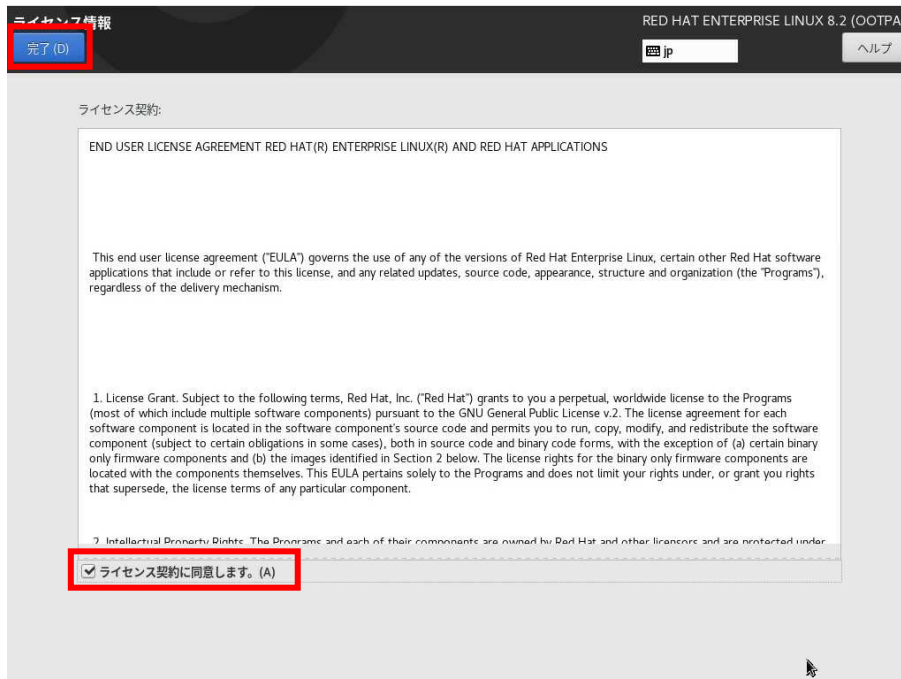
11 インストール完了後「再起動 (R)」をクリックします。



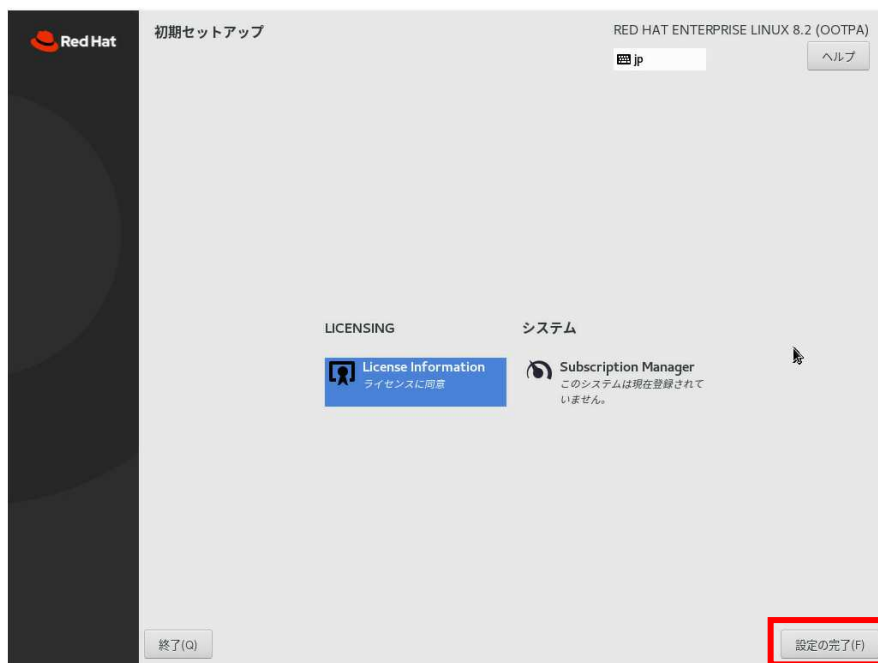
12 再起動後、初期セットアップの画面が表示されますので、「License Information」をクリックします。



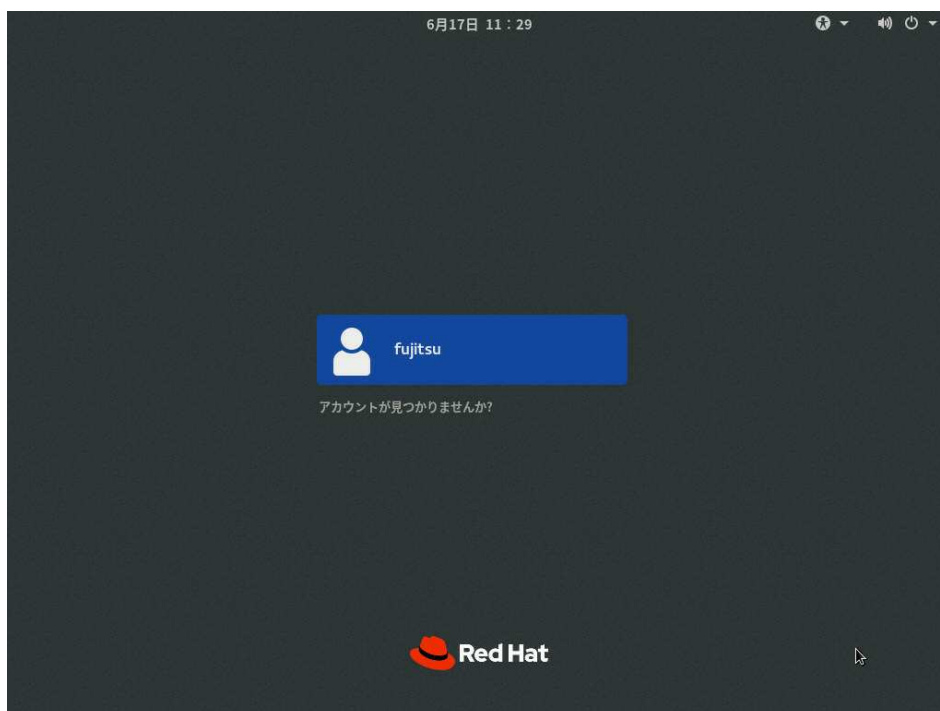
- 13 ライセンス契約内容を確認し、問題がなければ「ライセンス契約に同意します。(A)」にチェックを入れ、「完了(D)」をクリックします。



- 14 初期セットアップの画面に戻ったら「設定の完了(F)」をクリックします。



15 ログイン画面が表示されたらインストール完了です。



2.3 インストール後の環境設定

富士通の Support Desk サービス (Linux サポート) をご利用の場合、以下を適用してください。

- Linux の OS のサポート : 富士通 Linux サポートパッケージ (FJ-LSP)

FJ-LSP は、富士通推奨の Linux サポート環境を作成するためのツールで、サポート契約されたお客様のみ使用できます。

FJ-LSP は、富士通の SupportDesk 契約者様向けサイト (SupportDesk web: <https://eservice.fujitsu.com/supportdesk-web/>) からダウンロードしてください。

改版履歷

版数	改版内容
1 版	初版作成

Red Hat Enterprise Linux OS の手動インストール
Red Hat Enterprise Linux 8.2

CA92344-4628-01

発行日 **2021 年 8 月**

発行責任 **富士通株式会社**

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。